

## 剣道教士称号審査会要項

### 1. 受審資格

剣道錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過(令和2年11月30日以前に取得)した者。

※上記対象者で東京都剣道連盟における級位・段位・称号の審査等に関する規程および実施要領第21条2項の資格を有する者。なお、講習会の有効期間3年は、令和元年7月以降とする。

**今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会が中止となったため、指導者講習会は1回以上とする。**

※東京都剣道連盟では、上記対象者を称号推薦審議会に諮ったうえで全剣連へ推薦する。

※年齢基準は、審査当日令和4年11月18日とする。

※全剣連社会体育指導員上級取得者は小論文を免除する。

### 2. 申込方法

受審希望者は、所定の教士受審申請書(自筆、パソコン不可)及び小論文に講習手帳を添え加盟団体へ申込むこと。

加盟団体は、受審希望者の受審申請書及び小論文と講習手帳を取りまとめ、候補者推薦書(任意の書式、指導歴、推薦理由を明記)を添付して9月13日(火)までに文京区剣道連盟に申込むこと。なお受審申請書は必要に応じてコピーすること。

〒112-0006 文京区小日向3-12-2 文京区剣道連盟事務局 内木幸介 TEL090-8892-1412

### 3. 小論文

(1)課題 「剣道指導者としてのあり方」

※再受審者についても上記小論文提出といたします。

(2)字数 800字以上1,200字以内

(3)用紙 400字詰め原稿用紙(市販のB4縦書き)用紙1~3行目に表題と東京都と氏名を記し、4行目2段目より書く。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。原稿用紙の右上をホッチキスでとめること。

(4)提出 封筒長3(長さか23,5cm・幅か12cm)の表に「剣道称号教士受審」、裏に東京都と氏名を表記し封印する。

### 4. 審査の方法

この度、新型コロナウイルス感染防止拡大や被害の減少に協力するため、試験会場での称号筆記試験を中止し、上記のとおり課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

### 5. 審査料等

選考料2200円 審査料 25000円

### 6. 振込先

【銀行】ゆうちょ銀行【店名】〇一八(読み ゼロイチハチ)【店番】018

【種別】普通預金 【口座番号】6557754 【口座名義】文京区剣道連盟

### 7. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の都道府県剣道連盟に送付する。後日、全剣連月刊「剣窓」令和5年1月号および全剣連ホームページ(<http://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

### 8. 個人情報保護法への対応

申込書に記載される個人情報(登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等)は全日本剣道連盟および東京都剣道連盟が実施する本審査会運営のために利用する。

なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがある。

更に剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。